

記入例

農地法第3条の3の規定による届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

田舎館村農業委員会会長 白戸 陽平 殿

届出人 住所 田舎館村大字〇〇字△△123番地1

氏名 田舎 太郎

連絡先 0172-58-2111

下記の農地（採草放牧地）について、（相続）により（所有権）を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出ます。

取得した事由を記載

取得した権利の内容を記載

記

1 権利取得者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

Table with 5 columns: 氏名, 住所, 国籍等, 在留資格又は特別永住者. Rows include 取得者 (田舎 太郎) and 前所有者 (田舎 太郎).

2 届出に係る土地の所在等

Table with 6 columns: 所在・地番, 地目 (登記簿, 現況), 面積(m²), 現在の耕作の状況, 今後の利用計画, 備考. Includes land parcels 〇〇字△△1-2 and 〇〇字△△2-2.

権利を取得した農地の内容を記載 ※筆数が多い場合は、別紙でも可

3 権利を取得した日（相続開始日）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(例) 被相続人の死亡した日 等 ※登記完了証に記載の「申請情報」欄の原因を参照してください。

4 権利を取得した事由

☑ 相続 / □ 時効取得 / □ その他の事由 ()

5 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

□ 希望する → 第三者への (譲渡 ・ 貸借) / ☑ 希望しない

相続した農地を耕作できないなどの理由により農業委員会等に耕作者などをあっせんしてほしい場合は、「希望する」にチェックを記入してください。

6 本届出に係る受理通知書の交付

□ 希望する

(記載要領)

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
3 国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たつて準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
4 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の住所及び氏名をそれぞれ記載してください。
5 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
6 記の4の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割、包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
7 記の5の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。
8 記の6の「本届出に係る受理通知書の交付」には、農業委員会から本届出に係る受理通知書の交付を希望する場合は□にチェックを入れてください。

第 号
年 月 日付けで届出書の提出があつた農地法第3条の3第1項の規定による届出についてはこれを受理したので通知します。
なお、本通知は権利関係を証明するものではないので念のため申し添えます。
年 月 日
田舎館村農業委員会会長 白戸 陽平